

人間じんかんにう生まれて "つないがりきをきよう" 281

光こう雲うん無む礙げ如に虚よ空こ

光はさわりなくどこからも私にまで届いている

本年もよろしく

お願い申しあげます。

昨年は、皆様方のお心によって真敬寺を護持相續させていただくことができませんでした、深く御礼申し上げます。

今年も皆様方とご一緒に、念仏の教えを聴聞させていただきましよう。

何卒、暖かなご指導、ご教示をたまわりますようお願い申しあげます。

令和三年正月

小塚山 真敬寺

1月の真敬寺行事予定

1日(金) 修正会 早朝6時

3日(日) 初御講 午前11時

17日(日) 聞法会(どなたでも)

午前9時半

竹内追悼会

午後1時半

城端別院法物巡回

19日(火) 正信偈入門の会

午後2時より

30日(土) 役員会

午後2時より

年忌表

2021 (令和3年)

| 年忌   | 亡くなられた年   |
|------|-----------|
| 1周忌  | 令和2年      |
| 3回忌  | 平成31 令和元年 |
| 7回忌  | 平成27年     |
| 13回忌 | 平成21年     |
| 17回忌 | 平成17年     |
| 25回忌 | 平成9年      |
| 33回忌 | 昭和64年     |
| 50回忌 | 昭和47年     |

## 年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年中はお世話になり有難うございました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

ひごろより、真敬寺の護持運営に、皆様のご理解ご協力をいただいておりますこと、こころより御礼申し上げます。真敬寺年間行事は修正会、各月の聞法会、総会、報恩講、祠堂経会、日曜学校、正信偈の会、正信偈入門の会等を行っております。今後も行事の他にも、営繕、保守整備を進めたいとおもいます。

コロナ禍により世相もかわり、人と人とのつながりが今まで通りに行き来できなくなり心さみしい日々が続いています。「ごめんなさい」「ありがとうございます」「おかげさまでです」との言葉も、お互いが会って声かけあって交わすことで、なお一層、心も伝わり心の距離も近づくかと思えます。

このような時代だからこそ、お互いが「ごめんなさい」「ありがとうございます」「おかげさまでです」との言葉をかけ合って温かい心の交流が望まれているのではないのでしょうか。せつかく縁を持ち今日の日を迎えさせていただいているのですからお互いの「つながり」を大切に、今年も皆様と真敬寺を護ってまいりましょう。

皆様からのお言葉を遠慮なくお聞かせいただければありがたく存じます。

新たな年を迎えられ、如何お過ごしでしょうか。

昨年はコロナ禍ではありましたが皆様のご支援をいただきこの日を迎えることができました、まことにありがとうございました。

世相も大きくかわり始め、これまでのように人と人との関わり、集まる機会も少なくなってきました、私自身、微力ながら、これまで真敬寺を盛り上げるために努力してきましたが、永年携わっていることで気づかないことが多いことあることと思えます。

皆様からの励まし、声かけ、叱咤、ご意見、お気づき等をお聞かせくださいますようお願いいたします。

住職 宮地修

## 聞法会法話の聞書

今井信悟(いまいしんご)さん

南砺市正立寺住職

本山相続講御助成会法話



本山御助成会というのが、この福光地域で残っている会なのです。本山を全国的に珍しい会です。本山を大事に維持しているためにこの御助成会を開いて、ご寄付を頂いて、本山に納めていたと思います。

今でこそ地区ごと寺ごとで納めています。

相続講は、主に、法義相続と本願護持の二つに使われています。

法義相続は、南無阿弥陀仏に誰もが救われていく、そこには老いも若いも関係なく、地位のあるなしも関係なく、お金の有る無しも一切関係なく、ただ南無阿弥陀仏で私たち誰もが救われていくことを仏さんの方から願って下さる、(ことを確かめ合う場) 仏さんが誓って下さっておられる(ことを認め合う場)、このことを大事に皆さんに伝えて、南無阿弥陀仏の仏法を相続していくために、いろんな行事を行う費用にさせていたれています。

本願護持は、特に決まった神様というのではなく窪んだところに向かって参っておられる宗教もあるのですけれど

も、やはり仏さんの姿がどういう形であっても、阿弥陀さまでしたら、こちらのよう立っておられるすがたで、何に対して参っているというところがなければ、中々わかりにくいのであります。

仏像なり御軸があつて、いろいろなお飾りがあつて、日頃の世間と離れた尊いもの、手を合わせているのだということ、目で見てお香を嗅いで感じていく、佛さまに手を合わせる尊い大事な場としてこられた、おじいちゃんおばあちゃんまだまだ先の方々代々が、そういう非日常の場をこれまで大事に作ってこられ、手を合わせてこられました。

そういう場は本願寺であったり、このお寺であったり、別院であったり手を合わせる場を大事にしてこられました。各家庭ではお内仏でした。

その場を維持していくために、いろんな費用がかかります。本願寺なども大きな建物を修復しています。大変なことになるのですけれども、皆様からの御心、ご寄付を頂いて大事に護ってきています。

そういうことを相続講という形でこれまで続けてきました。相続講という名がついたのは明治からだそうです。当時は何度も火災に遭っていたのですがその中でも皆さんが手を合わせる場を大事にして護っていかんなんと呼びかけられて、なんとか協力して、ただきたいと声がけされて、この相続講が皆さんに受け入れられて、毎年ご寄付を頂いてきました。

今はコロナでちょっと煩わしいですけれども、気兼ねなく自由にお参りできる東本願寺になつているのはこの相続講のお陰であると思います。

新年

元旦  
六時

# 修正会

初御講は

三日 午前十一時より

行く年もまた来る年も御佛の御名を称えて送り迎えん



発行 〒 939-1664 富山県南砺市竹内 440



真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修

ホームページを開設しました

TEL 0763-52-0196 携帯電話 090-3760-5692